

第 90 号
2017 年 (平成 29 年)
11 月

たけはら

市民と議会

| | |
|----|-------------------|
| 目次 | 特集ページ…………… 2 |
| | 決算特別委員会…… 4 |
| | 議案と採決結果…… 6 |
| | アンケート…………… 折込 |
| | 一般質問…………… 7 |
| | 常任委員会所管事務調査 …… 11 |

<http://www.city.takehara.lg.jp/>

特集

竹を文化にする人たち



▲まちなみ竹工房の前で竹工芸振興協会の皆さん

特集

今田議員 川本議員が聞く

竹を文化にする人たち

今回の特集は、まちなみ竹工房を訪問して、**竹工芸振興協会**の有田会長と、京都伝統工芸大学校を今春卒業し竹原に移住して、竹工芸に取り組んでいる寺本さん、宮下さんの3人にインタビューしました。

Q **まずは協会の紹介をお願いします。**

有田 現在の会員数は114名です。工房は、ここと、町並み保存センター裏の作業場と、東幼稚園を借りての港町工房、バンブー公園の竹の館があります。港町工房は水曜日と金曜日に会員の教室をしようるよ。月・火・木は初心者を集めての講座をやっています。講座には10人を越えてくることもあるんよ。みんな楽しんでしようります。

会員は、平均年齢は70にはなっていないかな。シルバー人材センターでもう12年目になる講座を開い

とって、そういうところから会員になってくれるんよ。時々元気でよう動ける80代の人も入ってくるよ。

Q **毎年の行事など活動状況を教えてください。**

有田 マツダスタジアムの竹のトンネルづくり、竹まつり、憧憬の路、それと祭りに合わせてやる竹工芸の教室、大きいのはそれくらいかの。体験教室はこのまちなみ竹工房や竹の館でもやるし、竹原小・中通小でもやるとるよ。インバウンドで外国人も来るけど、覚えるのは早いよ。他には郷原か

Q **移住してきたお二人に伺います。竹工芸に関心を持ったきっかけはなんですか。**

ら竹とんぼ500個の注文があったり、竹のお猪口を作ったり、今は電源開発さんの記念品の依頼があつて、色々忙しいですよ。

寺本 小学校の頃から物づくりが好きで、竹細工はヒゴをとることなど自分で一から作っていくことに興味を持ちました。先日別府へ研修にも行ってきましたが、もっと技術を高めて竹細工と他のものと一緒に組み合わせることも勉強したいと思っています。

ありたひろゆき
●有田博行 さん (76)
竹原市竹工芸振興協会会長
平成11年入会の第19期生

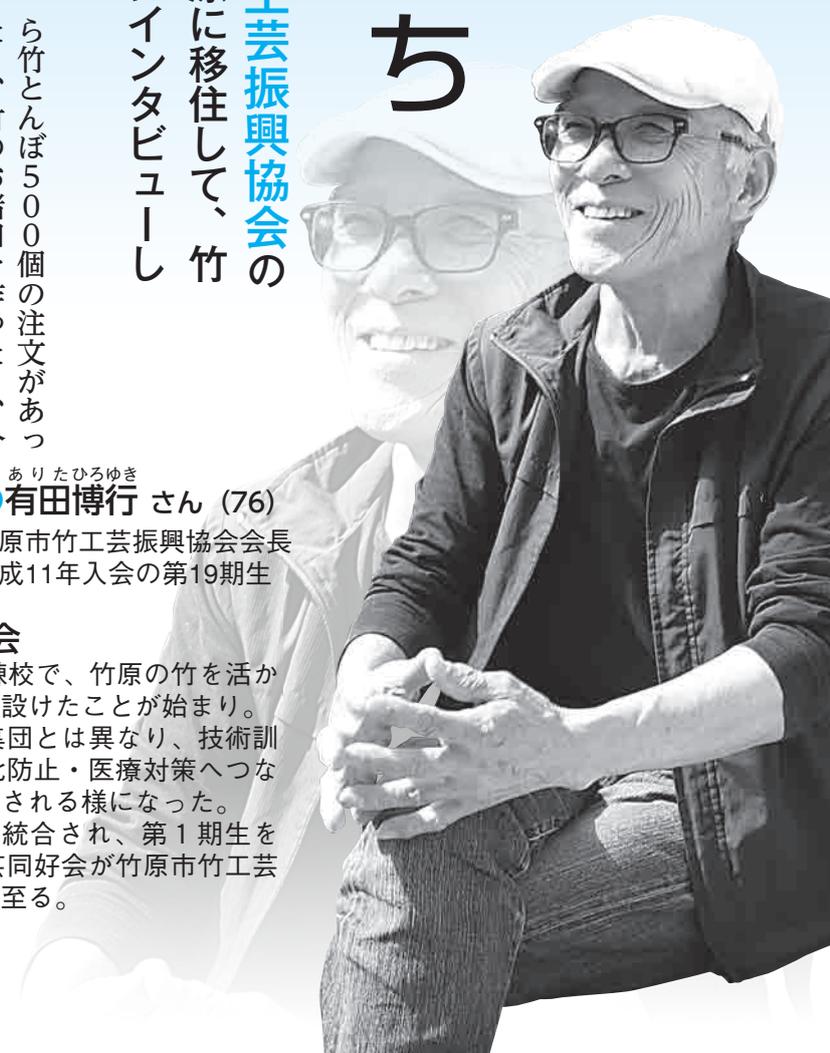
●竹原市竹工芸振興協会

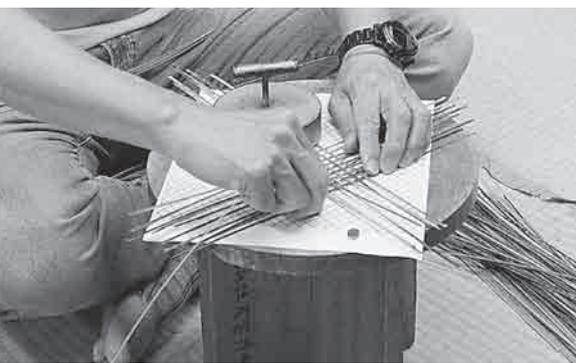
昭和56年竹原高等職業訓練校で、竹原の竹を活かした竹工芸科を日本で初めて設けたことが始まり。

京都や大分の竹工芸プロ集団とは異なり、技術訓練を通して、指先を使い老化防止・医療対策へつながり、手作りの竹細工が見直される様になった。

平成4年に竹原校が呉校に統合され、第1期生を中心に結成されていた竹工芸同好会が竹原市竹工芸振興協会に名称を改め現在に至る。

宮下 中学生の頃はペーパークラフトに興味があり、父親に薦められた本で竹細工を知りました。将来は地元の北海道で竹工芸を体験してもらえよう活動したいと思います。





▲有田会長(中央)と寺本^{みつ}光希さん(左)(横浜市出身)、
宮下^{みのり}農さん(右)(北海道月形町出身)



Q

最近、瀬戸内海クルーズ船のガンツウから依頼があったとお聞きしました。

有田 船内の茶室に竹の椅子9脚を納品したんですよ。7月頃に家具屋の社長さんが店に直接きて、インターネットを見たんかね、古い椅子を持って、「こんなのが作れますか?」と言って。その時は値段がいくらとか決まっていなかったけど、「こんなもんやらんと言ったら恥よ、やろう」ということで(受けた)。

エアコンのない作業場で、毎日7、8人もかかって、50日で作ったんですよ。ボランティアの依頼が多いから多少でも収入になればと思って。材料を2回も取り直したり、思ったよりよけい時間がかかった。でもまあ良いものができたけんね。

Q

現在の課題や今後取り組みたいことはありますか。

有田 課題と言えば材料の調達です。山に行つて切つて、いらんところは処分して、1ヶ月ほど陰干して、湯がいて、油抜きして、干しての作業は大変よ。

やってみたいのは、前から言っているんだけど、宿泊型の体験講座です。前に大阪から女性の方に来て、5日間くらいホテルで宿泊しながら、工房で朝から晩まで、自分が竹を割るところからやって帰つた人がおるんじやが、そういうのをね。

今やっている体験教室では、風車や四海波かごを小1時間で作ってもらうんですが、宿泊型の体験講座にしたら、道具を全部貸して教えて、自分でヒゴから作るわけだから達成感はあると思うよ。宿泊は空き家になつとる古民家を使つてもらつてね。

Q

最後に、市民のみなさんに伝えたいことがありますか。

寺本 竹原に住んでみて感じたのは、竹原の人たちの「暖かさ」です。移住してくる前に1週間程竹

原に滞在しましたが、初めて来たときから歓迎してもらいました。今年8月に体調を崩したときは、

アルバイト先の社長さんたちが大変ご心配をおかけしましたが、協会の人から野菜をいただいたり、アパートの近所の人も気にかけてくれたり、本当に親切にしてくらつて感謝しています。

宮下 住んでいる市に伝統芸術があるのは本当にめずらしいことです。もっと中高生など若い人たちが地元イベントに参加して、竹原の魅力を知ってもらいたいです。

有田 みなさん、もうちょっと町並みに来てほしいわね。歩いたことがないという人が結構おる。祭りをやっても、この地区の祭りとして、竹原の祭りという捉え方をしている人は結構いるんですよ。竹原全体の祭りだから地元の人にもっと関心を持ってもらいたいね。それと、11月18日からたけはら美術館で第10回の竹工芸作品展をやるんですよ。会員が趣向を凝らした作品を展示しますので、是非見に来てください。



（ 要 旨 ）

今回初めてタネットで
「決算特別委員会」の様子を
放送しました！

委員長 高重洋介 副委員長 堀越賢二

■審査にあたり

予算の執行が関係法令の規定に準拠し適正かつ公平に執行され、期待された行政効果が達成されているか、収入は適正に確保されているか、また財産が適正かつ公正に維持管理されているか等について決算書ならびに決算付属資料はもとより必要に応じ資料の提出と執行部から説明員の出席を求め、詳細説明を聴取するなど慎重かつ厳正な審査が行われました。

■主な意見の内容**●議案第46号**

1. 市税をはじめとする歳入については、人口減少で税収減となっていくなか、滞納整理など収納率向上への取組を進めるとともに、低所得者層への配慮有る対応を行うこと。
2. 職員採用と人材育成については、スポーツ枠や社会人枠など、多様な人材の確保に努めるとともに、市民サービス向上のための職員の意識改革を進めること。
3. 観光振興については、外国人観光客の増加に対応するため、パンフレットや展示物の多言語化への取組を進めること。
4. 公募型補助金については、より活用しやすい制度となるよう、補助要件などの内容の見直しを図ること。
5. 県営道路整備については、当初予算未執行の原因である用地買収への積極的な対応による早期整備の実現に向けた取組を進めること。
6. 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅については、入居促進に向けた更なる取組を進めること。
7. 的場海水浴場については、市民利用のみならず観光客誘致も視野に入れ整備促進を図ること。

●議案第47号

水道事業経営審議会において、料金改定後の結果検証を行い、経営戦略に沿った事業の推進を図ることにより、今後の水道事業の安定に活かすこと。

■審査日程

9月5日 本会議にて決算特別委員会を設置

9月8日 正副委員長の互選 審査日程・審査要求審議 前年度指摘・意見等への報告、質疑

9月21日 総務文教委員会関係詳細審査

総務部、企画振興部、教育委員会、公営企業部（水道）、会計課、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員および公平委員会関係の一般会計、特別会計

9月22日 民生都市建設委員会関係詳細審査

市民生活部、福祉部関係の一般会計、特別会計

9月25日 民生都市建設委員会関係詳細審査

建設部関係の一般会計、特別会計

9月26日 総括審査 採決



決算特別委員会委員長報告

… 審査の結果、2議案とも賛成多数により原案認定 …

本委員会は、平成29年第3回定例会初日に議長、監査委員を除く12名で構成される特別委員会として設置され、議案第46号「平成28年度竹原市歳入歳出決算認定について」、議案第47号「平成28年度竹原市水道事業決算認定について」の2議案の付託を受け、9月8日に招集された委員会において正副委員長を選任し、9月21日から9月26日まで、部ごとの詳細審査に加え、市長の出席を得ての総括審査を行うなど計5回にわたり委員会を開催しました。

委員会審査の過程において委員各位から貴重な指摘、要望及び意見が述べられており、これらの点を含め今後の行政執行の上で留意され、改善を図られるよう要望すると共に、新年度予算編成においても十分に反映されることを要請し、決算特別委員会の委員長報告としました。

詳細については次のとおりです。

◆ 議案第46号「平成28年度竹原市歳入歳出決算認定について」

■ 一般会計

歳入決算額…125億4,948万1千円 歳出決算額…123億9,935万1千円

※歳入歳出差引額は1億5,013万円の黒字、翌年へ繰り越すべき財源2,917万7千円

※差し引いた実質収支は、1億2,095万3千円の黒字

● 歳入の主なもの

- ・市 税 収入済額…37億8,314万4千円（前年度比1.5%の増）
※収納率は滞納分を含めた全体で93.8%（前年度比0.9ポイントの上昇）
- ・地方交付税 収入済額…27億3,737万6千円（前年度比0.1%の減）

● 歳出の主なもの

- ・総 務 費／支出済額…14億6,641万1千円（前年度比1.7%の増）
- ・民 生 費／支出済額…46億8,800万1千円（前年度比1.5%増）
- ・衛 生 費／支出済額…10億3,914万1千円（前年度比11.5%の増）
- ・商 工 費／支出済額…………… 6億12万円（前年度比20.7%の増）※工場等立地促進事業経費の増加など
- ・教 育 費／支出済額…11億2,338万1千円（前年度比34.1%の減）※忠海中学校区小中一貫校整備事業の完了など
- ・災害復旧費／支出済額… 1億6,253万4千円（前年度比2,855.2%の増）

■ 特別会計（6会計）

歳入決算額…83億3,941万9千円 歳出決算額…81億8,079万6千円

◆ 議案第47号「平成28年度竹原市水道事業決算認定について」

● 収益的収入及び支出

税込額で収入総額…9億 468万3千円

支出総額…7億8,044万8千円（差引 1億2,423万5千円の当年度利益）

税抜額で収入総額…8億4,132万8千円

支出総額…7億2,689万5千円（差引 1億1,443万3千円の純利益）

● 資本的収入及び支出 税込額で収入総額…………… 2,927万3千円

支出総額…2億3,774万1千円（差引 2億846万8千円の不足）

※この不足額については、過年度分と当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補填

平成29年第3回定例会提出議案などの概要と付託委員会と委員会採決の結果

| 議案番号 | 議案名 | 議案の概要 | 付託委員会 | 委員会採決 |
|----------|---|---|-------|-------|
| 報告第7号 | 平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について | 平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの | | |
| 議案第41号 | 竹原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて | 竹原市固定資産評価審査委員会委員中 住田芳夫 委員は、平成29年9月29日をもって任期満了につき、その後任委員を選任しようとするもの | 省略 | |
| 議案第42号 | 呉市と竹原市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について | 呉市と竹原市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関し、呉市と協議するもの | 総務 | 原案可決 |
| 議案第43号 | 市道路線の認定について | 国道432号の改良工事の完成に伴い、旧道となる区間を市道に認定するもの | 民生 | 原案可決 |
| 議案第44号 | 竹原市立学校設置条例の一部を改正する条例案 | 吉名中学校区に小中一貫教育校として義務教育学校を新設することに伴い、これを学校種別として新たに加えるとともに、既存の竹原市立吉名小学校及び中学校の名称を竹原市立吉名学園とし、その位置を定めるなどするもの | 総務 | 原案可決 |
| 議案第45号 | 竹原市営土地改良事業経費賦課金徴収条例の一部を改正する条例案 | 土地改良法の一部が改正されたことに伴い、条例中における引用条項の整理を行うもの | 民生 | 原案可決 |
| 議案第46号 | 平成28年度竹原市歳入歳出決算認定について | 地方自治法第233条第3項の規定により、平成28年度竹原市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、議会の認定をを求めるもの | 決算 | 原案認定 |
| 議案第47号 | 平成28年度竹原市水道事業決算認定について | 地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成28年度竹原市水道事業決算について、議会の認定をを求めるもの | 決算 | 原案認定 |
| 議案第48号 | 平成29年度竹原市一般会計補正予算(第2号) | 歳入歳出それぞれ5,324万4千円を増額補正するもの | 総務 | 原案可決 |
| 議案第49号 | 平成29年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | 歳入歳出それぞれ2,254万円を増額補正するもの | 民生 | 原案可決 |
| 議案第50号 | 平成29年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第1号) | 歳入歳出それぞれ4,721万9千円を増額補正するもの | 民生 | 原案可決 |
| 議案第51号 | 平成29年度竹原市一般会計補正予算(第3号) | 歳入歳出それぞれ1,641万6千円を増額補正するもの | 省略 | |
| 発議第29-2号 | 地方財政の充実強化を求める意見書(案) | 地方自治法第99号の規定により意見書を提出するもの(意見書の内容は10ページに記載しています。) | 省略 | |
| 発議第29-3号 | 義務教育費国庫負担制度2分の1の復元と、義務教育諸学校35人学級の完全実施を求める意見書(案) | 地方自治法第99号の規定により意見書を提出するもの(意見書の内容は10ページに記載しています。) | 省略 | |

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生都市建設委員会 「決算」は決算特別委員会

本会議における採決の結果

| 議案番号 | 今田佳男 | 竹橋和彦 | 山元経穂 | 高重洋介 | 堀越賢二 | 川本円 | 井上美津子 | 大川弘雄 | 道法知江 | 宮原忠行 | 北元豊 | 宇野武則 | 松本進 | 脇本茂紀 | 採決の結果 |
|----------|------|------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|-----|------|-----|------|-------|
| 議案第41号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案同意 |
| 議案第42号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 原案可決 |
| 議案第43号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 原案可決 |
| 議案第45号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第46号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 原案認定 |
| 議案第47号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 原案認定 |
| 議案第48号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第49号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第50号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第51号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 発議第29-2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | 退 | ○ | 原案可決 |
| 発議第29-3号 | ○ | 退 | 退 | ○ | ○ | ○ | 退 | ○ | 議 | ○ | 退 | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |

※「議」は議長 「欠」は欠席 「退」は退席

この面が内側になります

折る

725-8790

竹原市中央五丁目一三五

竹原市議会事務局

「議会だより編集委員会」行



料金受取人私郵便

竹原支店承認

31

差出有効期間
平成30年
3月31日まで
切手をはらずに
お出しください

折る



宇野 武則 議員

銀行跡地小公園建設について

【質問】

この公園の建設工事発注は小坂政司前市長の退任直前の平成25年12月9日。銀行から竹原市への土地所有権移転登記は平成26年2月12日で、工事発注から2ヶ月後。土地鑑定評価額は(坪)13万823円。市の購入額は(坪)19万2千円で、総額2,600万円余りで、同時期の周辺土地取引事例から倍額ではないのか。不透明な工事発注等が原因ではないか。

【答弁】(市長)

購入価額は不動産鑑定評価に基づいたもので公示価格と同額であり、適正な金額と考えております。

(旧)市立体育館跡地子育て支援事業について

【質問】

平成25年10月24日に前小坂政司市長に提出された土地鑑定評価報告書は

| | |
|--------|------------|
| 土地鑑定評価 | H25.10.24 |
| 土地更地価格 | 70,900,000 |
| 建物撤去費 | 49,600,000 |
| 残地価格 | 21,300,000 |

平成25年10月31日の議会答弁では

| | |
|--------|------------|
| 議会答弁 | H25.10.31 |
| 土地評価額 | 80,953,600 |
| 解体費 | 49,798,400 |
| 土地再評価額 | 2,246,000 |
| 残土地売却額 | 28,000,000 |
| 坪単価評価額 | 37,000 |

約1千万円の金額差額の理由は何?

【答弁】(市長)

土地更地価格の違いにつきましても、この土地の評価額7,090万円は現在建物の敷地となっている土地2筆分の金額であり、約8,095万円は平成26年6月に時点修正した市道を挟んだ向い側

一般質問

の駐車場用地も含めた3筆全ての金額を示したものであります。

【質問】

解体工事は竹原小学校体育館解体工事と同一の市内業者が受注した。建物撤去費は約5千万円であるが、下請業者の受注金額は1,300万円。解体費の高額な差額の理由は何?

【答弁】(市長)

仮に解体工事として比較した場合、旧市立体育館は鉄筋コンクリート造一部鉄骨造で、竹原小学校体育館は鉄骨造で解体方法、処分費の内容が異なるものです。

【質問】

土地鑑定会社による解体費積算事例3件の詳細な説明は?

【答弁】(市長)

鑑定会社による積算事例については会社へのヒアリングをもとに3件と答弁したものです。



今田 佳男 議員

文化財の活用について

【質問】

町並み保存地区等の貴重な文化財は今まで以上に活用できると考えます。またその際には地域住民、観光関係団体等と連携が必要と思いますが、お考えをお聞かせください。

【答弁】(教育長)

文化財の保存と活用につきましても、所有者だけでは十分な管理や公開活用が難しい場合もあることから、教育委員会といたしましても、従来の保存事業はもとより、活用に関する新たな観光分野の取組にも対応できるように、今後とも地域住民や関係団体等と連携を一層強化するなかで市長

部局と一体となって検討を進めてまいりたいと考えております。産地競争力強化事業について

【質問】

今後の企業誘致では、空き家等を活用した企業のサテライトオフィス、研究所等の誘致も検討されてはいかがでしょうか。

【答弁】(市長)

今後も効果的な企業誘致に取り組んでまいりたいと考えております。

竹原市空き家等対策計画について

【質問】

計画を周知し、市民の空き家等への対策の理解を深めるために、出前講座などを検討されてはいかがでしょうか。

【答弁】(市長)

職員が地域の皆様に空き家対策等について直接説明することは適切な管理ができていない空き家を増加させないためにも大変意義的

あることであり、出前講座などの様々な取組により本計画の周知・理解を深めてまいりたいと考えております。

【質問】

広報たけはら8月号では、相談内容が7項目に分類されて相談窓口が掲載されている。相談窓口の一本化が市民サービスの向上につながると思いますが。

【答弁】(市長)

多様な相談に対して相談者の負担軽減や市民サービスの向上の観点から、関係部署が緊密に連携をとり対応できる仕組みを構築してまいりたいと考えております。



▲吉井邸



宮原 忠行 議員

国保財政運営責任等の 広島県への移行に ついて

質問

広島県内の国民健康保険の被保険者の職業構成比は、無職が52・4%と半数を超えるとともに全国平均より8.3ポイント高くなっていることを反映して、被保険者1世帯当たりの平均所得は109万6千円で全国平均と比べて30万円、21・5ポイント低く、1人当たり平均所得も68万5千円で全国平均より15万9千円、約18・8ポイント低くなっています。

竹原市における無職の構成比、世帯当たり並びに1人当たりの平均所得はどのような水準にあるのか

答弁 (市長)

被保険者における無職の構成比と平均所得

つきましては、無職の構成比が62・3%で、県平均を9.9ポイント、全国平均を18・2ポイント上回る構成割合となっており、被保険者1世帯当たりの平均所得が72万1千円で、全国平均と比べて67万5千円、48・4%低く県平均と比べて37万5千円、34・2%低くなっております。

また、1人当たり平均所得額につきましては45万6千円で県平均と比べて22万9千円、約33・4%低くなっております。本市においては全国平均及び県の所得水準を大きく下回り県内最少の結果となっております。

質問

減免等の制度化について

保険料の減免等の制度化につきましては現在、県及び各市町で構成しております保険料検討ワーキンググループにおいて議員ご指摘のとおり低所得者に対する負担軽減措置にと

どもならず、条例減免につきましても検討中でありますが、これまで各市町の実情に応じてそれぞれ独自に定めてきた経緯があり、その基準は市町ごとに異なっている状況であるため激変緩和措置期間内を別途として、将来の保険料水準の統一を見据え、低所得者の保険料の負担状況等を把握するなかで、実施可能な減免基準の統一に向けた検討を行ってまいります。



質問

管理の議論を行い、メンタルヘルス対策については、産業カウンセラーによる「こころの相談室」を毎月開設し、ストレッチを実施して

時間外勤務等縮減指針を定め、衛生委員会において、職員の健康障害の防止対策と健康

過度な精神的疲労によつて長期の休暇を余儀なくされた方もおられます。このような過労死・過労自殺をなくすためにどのような対策を行っておりますか。

答弁 (市長)

管理の議論を行い、メンタルヘルス対策については、産業カウンセラーによる「こころの相談室」を毎月開設し、ストレッチを実施して



脇本 茂紀 議員

竹原市の過労死・過 労自殺を防ぐ対策に ついて

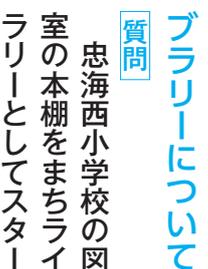
質問

電通の新人職員高橋まつりさんの自殺を契機に、違法残業による過労死・過労自殺が次々と摘発されました。竹原市においてもかつて過労死や過労自殺で亡くなられた方がおり、過度な精神的疲労によつて長期の休暇を余儀なくされた方もおられます。このような過労死・過労自殺をなくすためにどのような対策を行っておりますか。

教員は給与特別措置法により実質的に残業代ゼロの制度です。文科省は学校内勤務時間が週60時間以上の教諭が小学校で33・5%、中学校が57・7%と公表しました。週20時間以上の時間外労働をしており「過労死ライン」を上回ります。市内の実態とその対策について伺います。

答弁 (教育長)

週平均60時間を上回っている割合は小学校が約26・7%、中学校が約41・1%です。今年度は中学校で原則週1回必ず部活動の休養日を設け、土日のいずれかは休みにするよう取り決め、夏季休業中に一斉閉庁日を設けています。



忠海西小学校の図書室の本棚をまちライブラリーとしてスタート

ブラリーユニア 忠海西小学校の図書 室の本棚をまちライ ブラリーとしてスタ ート

質問

さらには忠海の蔵書家の本や資料、竹原書院図書館にある忠海に関する図書、学校や町のメモリアル資料等で次々と教室を埋めていくワークショップを始めた

学校施設の多くは施設規模が大きく全体の活用策には相応の時間も要するので、暫定的に地域コミュニティの場「まちライブラリー」など様々な活用策を検討し、地域住民等が将来にわたり、施設全体の複合的な活用策を提案してもらおうことも必要であると考えております。

答弁 (教育長)

さらには忠海の蔵書家の本や資料、竹原書院図書館にある忠海に関する図書、学校や町のメモリアル資料等で次々と教室を埋めていくワークショップを始めた

さらには忠海の蔵書家の本や資料、竹原書院図書館にある忠海に関する図書、学校や町のメモリアル資料等で次々と教室を埋めていくワークショップを始めた



松本 進 議員

市の覚書(商工会議所・住民の対応)について

質問

①平成29年8月1日付、商工会議所の覚書は、第1条で合同ビルの移転を確認。第2条で協議事項に委ねた必要面積や賃貸料・管理費等の負担限度額、建設規模や事業費の概要と財源は。

②新市庁舎ビルの整備は2018年10月、2020年9月末。福祉会館解体撤去後の複合施設完成予定は2019年10月。合同ビル使用中の商工会議所はどの様になりますか。

③仁賀ダム関連の覚書で住民は、6月議会の市長答弁(H27年1月22日)は事実でないとして市長に発言の撤回と謝罪を求めています。覚書締結後11年余り、課

題の整理・合意の見通しはありますか。

答弁(市長)

①・②この覚書は今後の契約締結に向けた事前行為です。事務所移転には覚書の協議事項どおり必要な業務スペース等を確定する必要があります。

③関係者と話し合ったが調整が整わない状況です。今後も誠実な対応に努めます。

教員の長時間勤務の解決について

質問

①文科省の小中学校教員の勤務実態調査で中学校約6割、小学校約3割が週60時間以上勤務し、過労死ラインの月80時間以上の残業もありました。この間、教員の長時間勤務を解決する人員配置増や時間短縮の成果は。

②教員勤務の出退勤・残業等の把握と管理は。

【答弁(教育長)】

①広島県から教諭21名(小13人・中8人)の加配等昨年比2名増加。

来年度の教員負担軽減の情報はありますか。ませんが、県教委に要望します。

②残業は給特法で緊急の場合など4項目に限定しています。時間外在校時間は大変重く受け止め、教職員の健康管理に努めます。

市介護保険の施設増床等計画について

質問

①2016年度決算資料で竹原市の特養入所待機者は3施設で418人、うち在宅待機者148人、要介護3以上は69人。現在、市の待機者は。

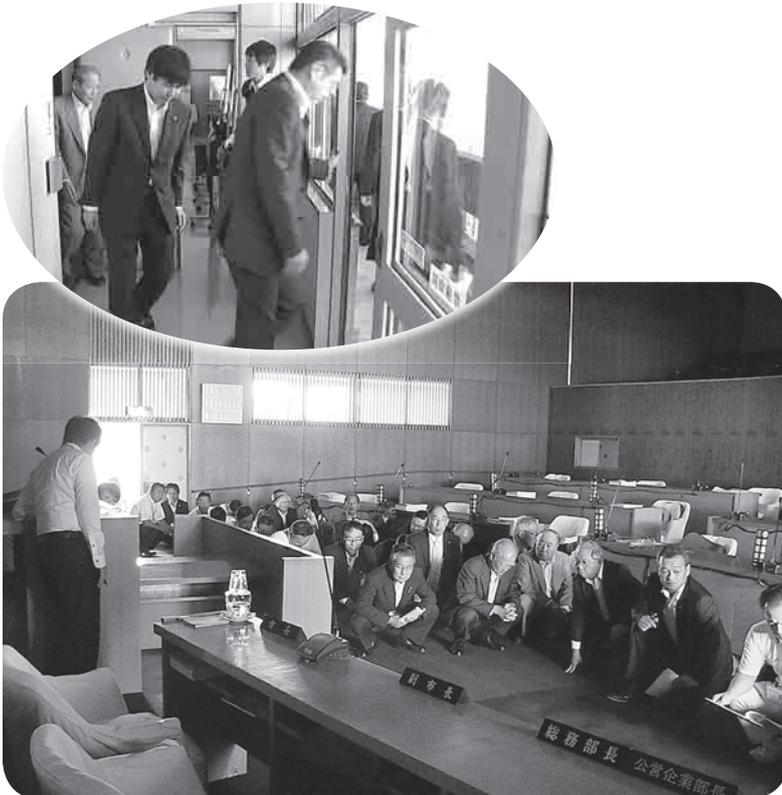
市長は「必要ということとは重々受けとめている」と発言された特養施設計画の増床数は。

【答弁(市長)】

①平成29年度は要介護3以上は129人、うち在宅申込者は27人。次期介護計画の特養施設の増床数は広島県及び近隣市町との協議、調整が不可欠です。

一般

市議会で初の避難訓練を実施しました



▲本会議場で待機する様子

今年7月に策定した「災害発生時の竹原市議会議員の行動マニュアル」に基づき、第3回定例会の最終日である9月29日に避難訓練を実施しました。

震度5強の地震発生を想定し、本会議場から屋外への避難や消防機関への通報などの訓練を行い、訓練後には、立ち会っていただいた竹原消防署の有場副署長から、避難行動時の注意点等について御指導をいただきました。

こうした訓練は市議会として初めての試みでありましたが、議員・傍聴者・職員ともに緊張感を持って参加し、いっしょで起こるか分からない災害に対しては、日頃の備えが何よりも重要であると改めて感じました。

今後もこうした訓練や研修の実施に取り組んでまいりたいと考えています。

災害支援連絡会 川本 円

意見書

9月定例会では議員発議により意見書を提出。出席議員全員賛成により可決し、国・政府へ提出しました。

地方財政の充実強化を求める意見書

2018(平成30)年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すために国においては、地方財政の充実強化等を実現するよう求めます。

義務教育費国庫負担制度2分の1の復元と、義務教育諸学校35人学級の完全実施を求める意見書

義務教育国庫負担制度は、憲法26条に記された義務教育費無償の原則に則り、教育の機会均等とその水準の維持向上を図るうえで根幹をなす制度であり、すべての国民が等しくその能力に応ずる教育を与えられることに大きく貢献してきました。

平成18年度から義務教育費国庫負担金については、国庫負担が2分の1から3分の1に変更されましたが、自治体間の自主財源格差を考慮すれば、地域ごとの教育水準格差につながる恐れがあります。「教育は未来への先行投資」であり、子どもたちへの最善の教育環境を提供する必要があります。

また、公立義務教育諸学校の学級規模及び教職員の配置基準が、各県各市町村によって教育環境に大きな差を生じています。よって小学校1年生だけにとどまっている学級編成の標準35名を拡充し、義務教育9カ年全学年の学級編成基準を35名に改正する必要があります。

については、教育条件の整備のため、義務教育費国庫負担制度2分の1の復元と、義務教育諸学校35人学級の完全実施等の実現について強く要請いたします。

公共施設ゾーン調査特別委員会

当委員会では、平成29年9月4日に公共施設ゾーン整備事業推進に伴う竹原商工会議所との協議状況及び市の検討状況について報告を受けました。

竹原商工会議所との協議状況については8月1日に竹原商工会議所は「たけはら合同ビルに区分所有する部分を竹原市に売却する」「竹原市は既存の竹原福祉会館の建物を撤去した後、その敷地に公共施設として新たな施設を整備し、その一部に商工会議所が移転する。その部分については市が商工会議所に賃貸する」等の要旨の覚書を締結したとの報告がありました。

また、事業推進に合わせて、現在配置している行政機能について再配置を行うこととなるため、今後残していく必要がある行政機能を維持しながら、計画的また効率的に移転し、事業を円滑に推進していくと説明を受けました。

今後ともこの事業の進捗状況をしっかりと確認しながら、積極的な提言を行ってまいります。

議会のうごき

- 8月17日 議会運営委員会
8月22日 総務文教委員会
8月30日 議会運営委員会(会期前)
9月4日 公共施設ゾーン調査特別委員会
9月5日 第3回定例会(~29日)
9月6日 第1回総務文教委員会(会期中)
9月7日 第1回民生都市建設委員会(会期中)
9月8日 決算特別委員会
9月11日 本会議 一般質問(~12日)
9月14日 第2回総務文教委員会(会期中)
9月15日 第2回民生都市建設委員会(会期中) 代表者会議
9月19日 議会運営委員会(会期中)
9月21日 決算特別委員会(~26日)
9月28日 議会運営委員会(会期中)
9月29日 本会議
10月11日 民生都市建設委員会 兵庫県篠山市議会 来市
10月12日 宮城県加美町議会 来市
10月13日 茨城県鹿嶋市議会 来市
10月16日 愛知県愛西市議会 来市
10月17日 広島県市議会議長会臨時会
10月17日 民生都市建設委員会
10月17日 奈良県大和郡山市議会 来市
10月18日 総務文教委員会
10月19日 千葉県四街道市議会 来市
10月20日 広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会
10月25日 民生都市建設委員会行政視察(~27日)
10月26日 福岡県福津市議会 来市
10月27日 広島県市町総合事務組合議会定例会
10月30日 議会運営委員会
11月1日 全員協議会
総務文教委員会行政視察(~13日)

※この間、議会だより編集委員会は6回開催しました。

常任委員会 所管事務調査

総務文教常任委員会

当委員会では、平成29年7月19日・8月22日に所管事務調査を行いました。

調査項目として、7月「竹原市の未利用地活用について」8月は「空き家・空き店舗の活用について」を目的としたものです。

両日の調査は、市内に点在する未利用地及び空き家・空き店舗を活用し、地域活性化を図るものであり、官民一体となって取り組む必要性があり、かつ、不可分の分野であるとの重要性の認識の下で、2か月に渡り実施しました。

まず、7月の「未利用地活用について」は、本年6月市議会定例会において「竹原市定住促進条例」が可決された事に基づき、対象である仁賀町の4区画を、そして、他の未利用地である賀茂川給食調理

場跡地、大乘小学校周辺を視察しました。

次に8月は、空き家の活用事例として、住居兼店舗への改装を予定している古民家(酒蔵交流館前)、また空き店舗の活用事例として、洋食店のアルケーさんと畳屋もりりしたさんを視察しました。

視察後に行った委員間の自由討議では、幅広い視野で未利用地の活用を考察する事、空き家・空き店舗に対しての補助制度への積極的なPR、インバウンド(外国人誘客)政策による外国人への宿泊施設を提供等、様々な意見、提案が出され、担当部である企画振興部への要望する事を決めて委員会を閉会しました。

今回の調査項目は、本市の課題である地域活性化に関わるものであることは重々認識しておりますが、一朝一夕での解決は困難である事から、継続して取り組みで参ります。

委員長 山元 経穂



▲Uターンで頑張っている森下さん(中央)

民生都市建設

常任委員会

平成29年7月20日、閉会中審査7件の協議事項及び1件の報告事項の審査のため第1・2委員会室において開催しました。

主な質疑等があった

内容は、国民健康保険税軽減判定の誤りについては、内容・原因の説明、件数及びその額、対応状況、再発防止策について担当課よりの確かな説明により質疑はなく、竹原市斎場火葬業務委託入札結果については、2社の応札結果、前回の委託業者が前回より低価格で落札したもので、業務仕様内容や、落札価格に対する賃金支払い方法、同一労働同一賃金との整合性、できるだけ地元業者への発注等、活発な質疑がありました。

竹原市住宅管理状況については、住宅の管

理状況や活用・用途廃止における適正な取扱いについて質疑がありました。

平成29年10月11日、平成30年4月開校予定である義務教育学校整備事業の進捗状況を現地視察調査しました。

副委員長 竹橋和彦

設備工事60%、機械設備工事65%、部室・放課後児童クラブ95%で平成30年1月末完成に向けて予定通り、進捗しているとの報告を受けました。

また、平成29年第3回定例会においては、学校名が「吉名学園」と可決され、義務教育学校として、学力の低下や不登校など児童生徒の問題に対応し、夢をもち、子どもが輝く教育の実現に向けて質の高い教育活動を目的とし、整備してまいります。

工事進捗状況は、建設工事80%、電気



▲吉名学園の工事現場を視察する様子



▲昨年展示した竹のトンネル

「竹工芸振興協会」の取材を通じて

取材後記

今回はまちなみ竹工房で「竹工芸振興協会」のみなさんに取材をお願いしました。お話を聞かせていただいた3人をはじめ、会員のみなさんの「竹」に対する熱い思いを感じて「竹を文化にする人たち」として特集記事にしました。

10月末に開催された「憧憬の路」にいられた多くの観光客は、地域のみなさんの心こもった作品に感動されて、「また竹原に来たい」と思われたことでしょう。

取材では「町並みにきてほしい」「竹原の人の暖かさ」「竹原の魅力」など心に残る言葉があり、今後も協会の発展を応援していきたいと強く思いました。

担当委員

今田 佳男

アンケートにご協力をお願いします！

議会だより編集委員会は、東広島市、三次市、坂町の広報広聴委員会を視察に行くなど、他市町を参考にしながら、市民のみなさんに「手に取って読んでいただける議会だより」作りを目指して活動しています。

調査した他市町では議会だよりにクイズのページを設け、市民からの意見を集める委員会もあります。選挙権年齢が18歳に引き下げられ、より多くの市民のみなさんに関心を持っていただきたいと思い、今号にアンケートを折り込んでいます。今後の議会広報活動の資料としますので、是非ご協力よろしくお願います。



お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

<http://www.city.takehara.lg.jp/>

YouTube^{JP}

竹原市議会

検索



次回定例会市議会は、11月下旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

広島東洋カープ2年連続セ・リーグ優勝、26年ぶり兄弟優勝、心よりお祝い申し上げます。万歳！

カープ優勝における経済効果は前年に対し、70億円増の約400億円と推定されています。地域経済への波及効果は非常に大きなものとなっています。

また、優勝当日のテレビ報道を観ますと万歳する人抱き合い飛び跳ねる人、感きわまって涙する人、ビールをかけ合う人、それぞれの喜び合う人々が放映されていました。いずれにしても同じ目標である「優勝」に向け心を一つにして共有できることは何事にも代えがたいものがあり心打たれるものがあります。

本市においても、市民・行政・議会が三位一体となり同じ目標を共有し「住み良さ実感竹原」安心・安全なまちづくりに向け邁進してまいります。

竹橋 和彦

「編集委員」◎委員長○事務局長

◎井上美津子 ○堀越 賢二

今田 佳男

竹橋 和彦

川本 円

大川 弘雄